

平成25年度 決算報告

平成25年度一般会計の決算規模については、歳入総額が38億7,374万6千円で、前年度と比較すると2,551万5千円(0.7%)の減、歳出総額は37億1,476万9千円で、前年度と比較すると998万5千円(0.3%)の減となりました。

また、歳入歳出差引額は1億5,897万7千円の黒字ですが、このうち翌年度へ繰越すべき財源が2,714万8千円あり、実質収支額は1億3,182万9千円となり、前年度より3,675万9千円(21.8%)の減となりました。

歳入については、町税のうち個人町民税は米価の下落等により個人所得が減少したことにより1.7%の減となり、法人町民税は主要企業の業績回復等により3.2%の増となったものの、町民税全体では1.3%の減となりました。固定資産税は、土地分0.3%減、家屋分0.1%減、償却資産分3.7%減、交付金分2.7%減、家屋の滅失等により全体で1.0%の減となっております。軽自動車税は、登録台数の減少に伴い0.1%の減、たばこ税は、販売本数が減少しておりま

すが、税額の改正により9.1%の増、入湯税は入浴施設の廃止により2.3%の減となり、町税全体としては0.8%の減となっております。

地方交付税については、普通地方交付税は2.0%の減、特別交付税は13.5%の増で、全体では0.5%の減となりました。これは、各単位費用の減や辺地債等の償還終了などによるものです。

国・県支出金のうち、国庫支出金では臨時市町村道除雪事業費補助金、学校施設環境改善交付金等の皆減が要因となり35.1%減、県支出金においては、緊急雇用創出臨時対策基金事業費補助金、森林環境保全整備事業費補助金などの減に対し、公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金、県営発電所周辺地域等振興事業費補助金、未来づくり交付金などの増により46.4%増となっております。

町債においては、自然災害防止事業債270万円、緊急防災・減災事業債650万円等が皆増となったものの、臨時財政対策債が594万3千円、過疎対策事業債が1億7,260万円、振興資金が1,080万円の減となり、総額で1億7,184万3千円(37.5%)の減となっております。

歳出については、公債費11.7%から9.7%に、義務的経費も33.2%から31.6%へと若干ではあります減少しており、經常収支比率は76.8%となっております。

その他は下記をご覧ください。

平成25年度主要施策

(単位：千円)

『補助事業』

歯科用機器購入事業	6,946
森林整備加速化・林業再生事業	24,567
造林事業	31,526
町道路面性状調査業務委託	1,733
藤琴二ツ井線道路改良事業	20,208
除雪ドーザ整備事業(繰明分)	16,800
災害復旧(補助分)(農林水産施設)	4,010
災害復旧(補助分)(公共土木)	10,744

『単独事業』

特産振興事業(白神ラム関連)	43,616
畜産振興事業(施設管理費含む)	23,162
造林事業(単独)	26,102
林道作業道維持事業	17,289
林産物特産品振興事業	54,393
観光施設等整備事業	16,967
道路維持事業	30,425
雪寒建設機械整備事業	12,824
清水岱公園野球場改修事業	159,315
消防施設整備事業	25,070
太陽光発電設備導入事業	53,435

◇歳出の性質別構成比率◇

(単位：千円)

【義務的経費】

◎人件費	573,557 (15.4%)
(うち職員給)	326,160 (8.8%)
◎扶助費	238,075 (6.4%)
◎公債費	361,888 (9.7%)

【投資的経費】

◎普通建設事業費	694,816 (18.7%)
◎災害復旧費	37,769 (1.0%)

【その他経費】

◎物件費	489,311 (13.2%)
◎維持補修費	61,018 (1.6%)
◎補助費等	464,021 (12.5%)
◎投資出資貸付金	131,756 (3.5%)
◎積立金	308,124 (8.3%)
◎繰出金	354,710 (9.5%)

歳出合計 3,715,045 (100%)